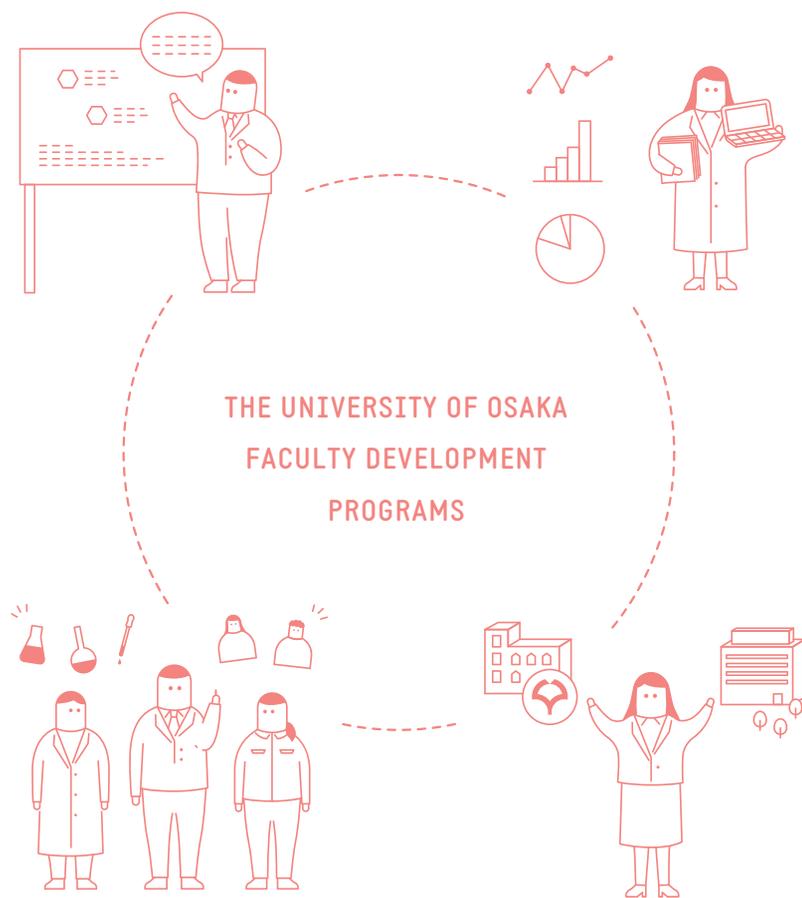


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



2025 年度

4 月～9 月

大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究等に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

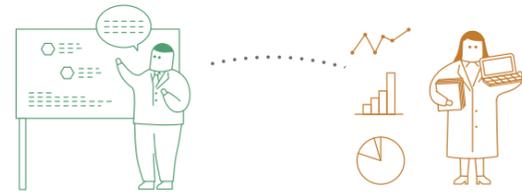
概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



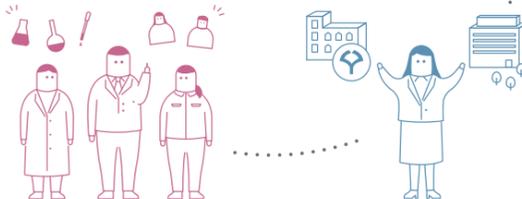
研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。



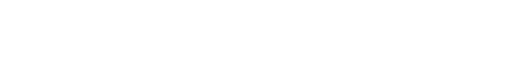
マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。



THE UNIVERSITY OF OSAKA
FACULTY DEVELOPMENT
PROGRAMS

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。



理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

2025年前期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。

🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

〈各プログラムの受講必須時間〉

- ▶ 教育能力 開発プログラム 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE（授業支援システム）」の「コミュニティページ」にて確認することができます。受講時間のCLEへの反映は、受講されてから約2ヶ月後となりますことをご了承ください。

🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部署の事務にお問合せください。

修了証書

殿
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日
大阪大学理事

📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します（上限120時間）。

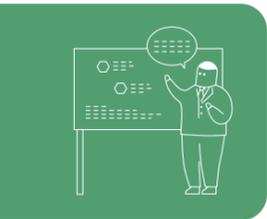
詳しくは、こちら → https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

研修プログラム一覧(令和7年度上期(2025.4~2025.9)通年開催分)

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンド」(FD関係)にてご確認ください

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4~9月									
研究	P.14	○	総合解析センター説明会	対面	4月3日 13:45~17:15	3.5	50名	日本語	産業科学研究所
研究	P.14	-	人間科学研究科:行動学系若手セミナーシリーズ	対面	4月3日・6月5日 8月7日 15:30~16:40を予定	各回1.17	各回最大30名	日本語/English (実施回による)	人間科学研究科
教育	P.6	-	授業デザインの方法	オンライン	4月17日 13:30~15:00	1.5	20名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	-	本学における障がい学生支援	オンライン	4月24日 12:15~13:30	1.25	制限なし	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
社会学連携	P.21	-	新任教員向け講義+適塾見学会~阪大の歴史を辿る~	対面	5月20日 11:00~12:00	1	20名	日本語	適塾記念センター
教育	P.6	-	学際教育の方法	オンライン	5月21日 17:00~19:00	2	16名	日本語	学際大学院機構 横断型教育統括部門
教育	P.6	-	アクティブ・ラーニング【実践編】	オンライン	5月23日 13:30~14:30	1	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	-	学生のメンタルヘルス不調	対面	6月9日 13:30~15:00	1.5	20名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
社会学連携	P.21	-	研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用	対面	6月20日 13:30~15:00	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
教育	P.7	-	シラバスの書き方【実践編】	オンライン	7月10日 13:30~15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	-	学生の心理と学生対応の基本的な考え方を学ぶ	オンライン	8月28日 13:30~15:00	1.5	50名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.7	-	授業における生成AIの活用【発展編】	対面	8月28日 13:30~15:00	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	-	大学におけるカルト問題	オンライン	9月4日 13:30~15:00	1.5	60名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
オンライン・対面(後日オンデマンド配信)									
教育	P.11	-	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ~社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援~	オンライン オンデマンド	オンライン:5月19日 10:45~11:45 オンデマンド: 未定~2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.11	-	障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ~職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援~	オンライン オンデマンド	オンライン:5月19日 12:15~13:15 オンデマンド: 未定~2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.12	-	障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ~精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ~	オンライン オンデマンド	オンライン:5月19日 13:45~14:45 オンデマンド: 未定~2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.12	-	博士学生・ポストドクのキャリア支援【知識編】	オンライン オンデマンド	オンライン:5月27日 12:15~13:15 オンデマンド: 未定~2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P.12	-	博士学生・ポストドクのキャリア支援【指導編】	オンライン オンデマンド	オンライン:5月27日 13:45~14:45 オンデマンド: 未定~2月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
未定									
教育	P.8	○	理学教育カリキュラム反省会	オンライン	4月上旬	2.5	150名	日本語	理学研究科
マネジメント	P.22	○	産研安全講習会	オンデマンド	4月中旬~5月中旬	2	制限なし	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.24	○	バイオセーフティー講習会	対面 オンライン オンデマンド	4月下旬~5月下旬 予定	2	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.24	-	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	詳解:化学物質安全取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 豊中分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.25	-	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 吹田分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.26	-	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.26	-	電気コンセントと電気配線の安全講習	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.24	-	実験系廃液・排水の取扱い	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 5月中旬~下旬 オンデマンド: 6月頃~3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.22	○	蛋白研安全講習会	対面又は オンライン	5月頃	1	200名程度	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.26	-	新入教職員安全衛生講習会	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 未定(5月頃) オンデマンド: 6月頃~3月末	1	未定	日本語	安全衛生管理部
社会学連携	P.21	-	アートを通した社会との共創~中之島芸術センターの活用	対面	5月~7月頃	1.5	15名程度	日本語	中之島芸術センター
マネジメント	P.26	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	対面 オンライン オンデマンド	対面:オンライン: 6月下旬~7月上旬頃 オンデマンド: 10月~11月頃	1	対面:未定 オンライン: 制限なし	日本語	安全衛生管理部
研究	P.14	○	研究倫理教育に関する説明会	対面	7月下旬頃 14:00~15:00	1	130名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.22	-	働き方改革推進研修	対面	7月頃	1	制限なし	日本語	ダイバーシティ& インクルージョンセンター

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
未定									
マネジメント	P.22	-	ハラスメント防止等に関する研修会	オンライン	7月上旬 (日時は未定)	1.5	制限なし	日本語	人権問題委員会
マネジメント	P.23	-	より良い人間関係の育み方	対面	7月予定	1.5	30名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.23	-	事例検討 ハラスメント防止のために	対面	7月予定	1.5	30名	日本語	工学研究科
教育	P.8	-	自殺防止セミナー	対面	8月開催予定	1.5	30名	日本語	工学研究科
研究	P.19	-	研究・教育のための工作技術講習会-ガラス工作基礎	対面	2日間開催 (8-9月,2-3月)	計15	最大5名 程度	日本語	コアファシリティ機構
研究	P.19	-	研究・教育のための工作技術講習会 -ガラス工作アドバンス	対面	2日間開催 (8-9月,2-3月)	計15	最大5名 程度	日本語	コアファシリティ機構
研究	P.20	-	研究・教育のための工作技術講習会-機械工作	対面	4日間開催 (8-9月,2-3月)	計30	最大8名 程度	日本語	コアファシリティ機構
研究	P.14	-	産学共創により研究成果を社会実装するには!	オンライン	9月頃(2日間)	計4	100名	日本語	共創機構
教育	P.8	-	FD Workshop for Globalization of Education: Towards a learner-centered approach	対面	9月中(未定)	12	15名	English	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.13	-	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)	オンライン オンデマンド	オンライン: 9月を予定 オンデマンド: 10月頃~3月を予定	2.5	オンライン: 300名 オンデマンド: 制限なし	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
研究	P.20	○	ISTネットワークングイベント	対面又は オンライン	隔月年5回程度 の開催を予定	各回 1.5	各回 30名程度	日本語	情報科学研究科
マネジメント	P.27	-	SOGI研修	オンライン オンデマンド	オンライン:未定 オンデマンド: ~3月31日	1	制限なし	日本語	ダイバーシティ& インクルージョンセンター
マネジメント	P.27	-	Well-being研修	オンライン オンデマンド	オンライン:未定 オンデマンド: ~3月31日	1	制限なし	日本語	ダイバーシティ& インクルージョンセンター
マネジメント	P.27	-	アンコンシャス・バイアス研修	オンライン オンデマンド	オンライン:未定 オンデマンド: ~3月31日	1	制限なし	日本語	ダイバーシティ& インクルージョンセンター
研究	P.20	○	不正防止について	オンデマンド	未定	0.33	制限なし	日本語/ English	微生物研究所、免疫学 フロンティア研究センター
マネジメント	P.23	○	工学研究科新入者研修	対面	未定	6(予定)	約30名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.23	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会	オンライン	未定	3	制限なし	日本語	基礎工学研究科
随時・定期開催									
研究	P.18	○	生命機能研究科コロキウム	対面 オンライン	週1回 火曜日 12:15~13:00	0.75	100名 まで	日本語/ English	生命機能研究科
研究	P.18	○	ISTランチセミナー	対面	週1回程度 12:00~13:00	各回 1	20名程度	日本語/ English	情報科学研究科
研究	P.18	-	機械工作ステューデントショップ利用のための安全講習会	対面	週1回程度開催	1	最大 10名程度	日本語	コアファシリティ機構
研究	P.19	-	研究・教育のための3D-CAD入門講習会	対面	毎月1回 程度開催	3	最大 10名程度	日本語	コアファシリティ機構
マネジメント	P.26	-	ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム	対面	4-7月,10-1月 各月1回 (12:20~13:20)	各回 1	15名程度	日本語	人間科学研究科
研究	P.18	○	微研集談会	対面	8,12,1月を除く 毎月第4火曜日 (16:00~17:00)	1	制限なし	日本語/ English	微生物研究所、免疫学 フロンティア研究センター
研究	P.19	-	アドバンスセミナー	対面 オンライン	8月と3月を除く 毎月1回 (16:00~17:00)	1	制限なし	日本語/ English	微生物研究所、免疫学 フロンティア研究センター
教育	P.13	○	FD研修会	対面	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度	60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.20	○	蛋白研コロキウム	対面又は オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回 1程度	60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.15	-	Nature Masterclasses On-demand [A]-(Advancing Your Scientific Presentations)	オンデマンド	~2月9日	計10	制限なし	English	研究推進部
研究	P.15	-	Nature Masterclasses On-demand [B]-(Persuasive Grant Writing)	オンデマンド	~2月9日	計7.5	制限なし	English	研究推進部
研究	P.15	-	Nature Masterclasses On-demand [C]-(Publishing a Research Paper:2nd Edition)	オンデマンド	~2月9日	計3.25	制限なし	English	研究推進部
研究	P.16	-	Nature Masterclasses On-demand [D]-(Writing a Research Paper:2nd Edition)	オンデマンド	~2月9日	計14.5	制限なし	English	研究推進部
教育	P.9	-	CLE講習会(入門編)	オンデマンド	~3月31日	2	制限なし	日本語	D3センター
教育	P.9	-	CLE講習会(応用編)	オンデマンド	~3月31日	2	制限なし	日本語	D3センター
教育	P.9	-	オンラインビデオ教材作成法(Echo編)	オンデマンド	~3月31日	1.5	制限なし	日本語	SLICSセンター、D3センター 全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	-	アクティブ・ラーニング【基礎編】	オンデマンド	~3月31日	1	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	-	シラバスの書き方【基礎編】	オンデマンド	~3月31日	1	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	-	学習評価	オンデマンド	~3月31日	3	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	-	授業における生成AIの活用【基礎編】	オンデマンド	~3月31日	1	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.16	-	オープンサイエンス時代における研究 データマネジメント基礎	オンデマンド	~3月31日	1	制限なし	日本語	オープンサイエンス推進室
研究	P.16	-	人文科学研究者必見! テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン	オンデマンド	~3月31日	1	制限なし	日本語	グローバル日本学 教育研究拠点
研究	P.17	-	人文科学研究者必見!研究データ管理ことはじめ -OUKAで始めるIIF画像の公開と利活用-	オンデマンド	~3月31日	1	制限なし	日本語	グローバル日本学 教育研究拠点
研究	P.17	-	倫理審査はなぜ必要? 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識	オンデマンド	~3月31日	0.58	制限なし	日本語	研究オフィス
研究	P.17	-	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	オンデマンド	6月2日~ 3月31日	1	制限なし	日本語	企画図書館 経営企画オフィスURA部門
社会学連携	P.21	-	なるほど!プレスリリース	オンデマンド	4月~3月(予定)	1	制限なし	日本語	企画部広報課
マネジメント	P.24	○	産研メンター制度実施利用者に向けての講演会	オンデマンド	4月~3月(予定)	2	制限なし	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.24	○	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	オンデマンド	4月~3月(予定)	2	制限なし	日本語	総務部人事課 人材育成係



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

授業デザインの方法

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 4月17日 13:30~15:00

〈キーワード〉教育技法、授業設計、学習目標、学習評価

〈概要〉大学教育を取り巻く環境が変わる中で、大学教員には、アクティブ・ラーニングやICTツールなどを適切に活用するための多様な教育能力が求められています。これらの先進的な教育技法を最大限に活かすためには、授業の骨組みとなるしっかりした授業デザインが不可欠です。そこで本研修では、教育学におけるインストラクショナル・デザインの理論に基づいた授業デザインの基本的な考え方や方法論について、ワークも交えながら実践的に学ぶことを目指します。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》[✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

本学における障がい学生支援

講師：望月 直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 4月24日 12:15~13:30

〈キーワード〉合理的配慮、説明

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とします。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会としたいです。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係》[✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

学際教育の方法

講師：田尾 俊輔(学際大学院機構 助教)

李明(学際大学院機構 准教授)
堀井 祐介(学際大学院機構 教授)
島村 道代(学際大学院機構 教授)

オンライン 5月21日 17:00~19:00

〈キーワード〉学際、DWAA、知と知の融合、社会と知の統合、異分野理解、ICT活用

〈概要〉学際教育、文理融合教育、総合知教育という用語を最近よく耳にするようになりました。大阪大学では多様な学部・研究科等から科目が提供されていますが、学生に科目を提供することに加え、どのように異なる分野と学際(transdisciplinary)できるのかを教えることも重要であると考えられます。そこで本研修では、大阪大学での学際教育の実践事例を体験し、学際教育を進めるにあたって教員は何をどのように教えると良いのかについて考えます。現在、学部・大学院で学際教育を担当されている方、これから学際教育の授業を設計しようと考えている方のみならず、一般教養科目や専門科目等で異なる学部・研究科の学生を教えている方にも参考にいただける内容となっています。本FDの受講にあたっては、ChatGPTのアカウントを作成しておいてください(無料版で問題ありません)。

《問合先：学際大学院機構(i-TGP)横断型教育統括部門》[✉tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp](mailto:tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：こちらのフォーム (<https://forms.office.com/r/C4XfbLVJUh>) からお申し込みください。先着順となります。》

アクティブ・ラーニング【実践編】

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 5月23日 13:30~14:30

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、「アクティブ・ラーニング基礎編」を受講した方を対象に、ご自身でアクティブ・ラーニングの授業実践を設計していただき、その内容をグループワークでブラッシュアップしていくことを通して、アクティブ・ラーニングの授業設計能力を習得することを目的としています。※本研修は、原則「アクティブ・ラーニング基礎編」を受講した方を対象としております。グループワークをメインとした研修となります。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》[✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



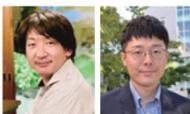
20名 1.5時間 日本語 オンライン

制限なし 1.25時間 日本語 オンライン

16名 2時間 日本語 オンライン



制限なし 1時間 日本語 オンライン



シラバスの書き方【実践編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 7月10日 13:30~15:00

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。講義形式の解説に加え、個人ワークを通じて、授業の目的や目標、内容設定、評価方法の作成スキルを身につけることを目指します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。※本セミナーは、「シラバスの書き方基礎編」の内容にワークを加えたプログラムとなっています。そのため、講義部分の内容が「基礎編」と重複しておりますので、あらかじめご了承ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》[✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

学生のメンタルヘルス不調

講師：足立 浩祥(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

豊中 6月9日 13:30~15:00

〈キーワード〉心理的問題、ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉上記テーマ(学生にみられるストレス反応やメンタルヘルス不調、発達障がいの特徴と対応)についてミニ講義とディスカッションでテーマについての理解を深めます。
〈目的〉本研修は、学生がキャンパスライフで陥りやすいメンタルヘルス不調とその背景、対応について、基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係》[✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

学生の心理と学生対応の基本的な考え方を学ぶ

講師：石金 直美(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 8月28日 13:30~15:00

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉本研修は、最近の学生の心理的特徴や心理的問題に対する理解を深め、学生対応の基本的な考え方とよりよいコミュニケーションの取り方を身につけることを目的とします。まず上記のテーマ(学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ)について講義形式で学びます。後半は、事前に参加者からメンタル面での学生対応で困った事例を募り、実際の事例に即して対応方法を検討し、ディスカッションを行います。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係》[✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

授業における生成AIの活用法【発展編】

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

村上 正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 8月28日 13:30~15:00

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉本研修では、生成AIの最新動向と、教育現場での具体的な活用法について実践的に学びます。基礎編で得た知識を土台に、生成AIを活用して授業の効率化や教育の質向上を図る実践的な知識やスキルを習得することを目的としています。本研修の前半では、最新動向も紹介しながら、生成AIが大学教育にもたらす可能性や課題を共有し、授業デザインや学習支援、業務効率化等に役立つ具体的な方法を紹介します。後半では、その操作方法を体験的に学び、参加者同士での議論を深めます。参加者は演習を通じて、生成AIを教育現場に適用する際の実務的なノウハウを習得し、自身の教育活動における新たな可能性を探る機会を得ることができます。生成AIをより高度に活用したい教員に最適な内容です。
※受講の際は、ChatGPT (<https://chat.openai.com/>) のアカウントを事前に準備していただくことをおすすめします。
※パソコン (Windows・Mac) をご持参ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》[✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》
《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

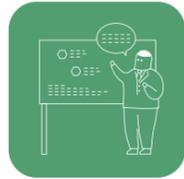
20名 1.5時間 日本語 対面

50名 1.5時間 日本語 オンライン

25名 1.5時間 日本語 対面



※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドاي」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

大学におけるカルト問題

講師：太刀掛 俊之(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンライン 9月4日 13:30~15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉本研修では、大学におけるカルト問題の現状とその背景について把握し、学生や教職員における予防とともに、問題が生じた場合の対応について理解を深めることを目的とします。講義形式で実施するとともに、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 [✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：1か月程度前に通知する開催案内に従って、メールにて事前申込をお願いします。
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

60名 1.5時間 日本語 オンライン

限定 理学研究科

理学教育カリキュラム反省会

講師：井上 正志(理学研究科 教授)
藤原 彰夫(理学研究科 教授)

オンライン 4月上旬

〈キーワード〉新カリキュラム、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉新カリキュラム、プロジェクト教育及び大阪大学における教育改革等について報告・議論します。

《問合せ先：理学研究科 学務係 [✉ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：3月中旬に理学研究科全教員にメール配信するため、事前の受講申込の必要はありません。》

150名 2.5時間 日本語 オンライン

英語版授業づくりワークショップ

(教育の国際化のためのFDワークショップー学習者中心のアプローチを学ぶー)

(FD Workshop for Globalization of Education: Towards a learner-centered approach)

講師：Team Denis 2025(2004年以來毎年開催の本ワークショップの修了者で、今回実施運営の中心となる教員グループ)
Members of Team Denis 2025 (these are graduates of this workshop, which has been held each year since 2004)

豊中 9月中(未定)

〈キーワード〉Course Design, Course Content, Learning Outcomes, Assessment Methods, Instructional Strategies, Microteaching

〈概要〉In this workshop, participants will learn about teaching and learning through a learner-centered approach by learning and practicing the theory of course design and through two micro-teaching sessions (mock classes). Participants will learn about the four themes of course design (Course Content, Learning Outcomes, Assessment Methods, and Instructional Strategies) and design their own courses in the morning session. During the microteaching session in the afternoon, each participant will give a 5-minute microteaching session on his/her own subject and receive comments and feedback from the instructor, co-instructors (former workshop participants), and other participants. By the time of the second microteaching session, participants will have prepared for the second micro-teaching session by considering areas for improvement.

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/cdws-workshop.html)にて、開催日の2週間前までにお申し込みください。開催日時の詳細は全学教育支援機構のHPに後日ご案内いたします。》

15名 12時間 English 対面

自殺防止セミナー

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 8月開催予定

〈キーワード〉孤立無援感の危機、メンタル不調の早期発見、共感力

〈概要〉学生のみならず、大阪大学全構成員の心の健康維持増進に寄与することを目的として、メンタル不調の早期発見、孤立無援感を払拭する在り方、関わり方について、「共感の重要性」「早期発見」「危機介入」を中心に、ご紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート & トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室
[✉negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。
[✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)
お申込時に、新任教員研修対象の受講希望者におかれましては、所属、お名前、大阪大学個人ID(「u」で始まる英数字8文字)をご明記ください。》

30名 1.5時間 日本語 対面

CLE講習会(入門編)

講師：外部講師

千葉 直也(D3センター 准教授)
白井 詩沙香(D3センター 准教授)
浦西 友樹(D3センター 教授)

オンライン 4月1日~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システム CLE でのコース作成方法の修得を目的に、CLE の基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センター サイバーメディア教育研究部門 [✉ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。
コミュニティへの参加方法：<https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0>
コミュニティに入ってくださいと、CMC が提供しています講習会一覧が表示されますので、CLE 講習会をクリックしていただき、表示されるページに掲載しております動画を視聴ください。
※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド



CLE講習会(応用編)

講師：外部講師

千葉 直也(D3センター 准教授)
白井 詩沙香(D3センター 准教授)
浦西 友樹(D3センター 教授)

オンライン 4月1日~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システム CLE の応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センター サイバーメディア教育研究部門 [✉ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。
コミュニティへの参加方法：<https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0>
コミュニティに入ってくださいと、CMC が提供しています講習会一覧が表示されますので、CLE 講習会をクリックしていただき、表示されるページに掲載しております動画を視聴ください。
※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド



オンラインビデオ教材作成法(Echo編)

講師：浦西 友樹(D3センター 教授)
浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

オンライン 4月1日~3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できる echo360 社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。また、専用のアプリケーションとウェブカメラ(内蔵 or 外付け)を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただけます。

※受講の際は(可能であればウェブカメラ付の)パソコン(Windows もしくは Mac)および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

※ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo360サポート窓口(echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp)までご連絡ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

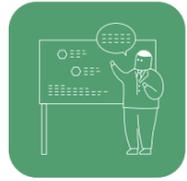
《申込方法：事前申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)をご参照ください。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド



- 定員
 - 受講時間
 - 使用言語
 - 研修形式
- 8 Program

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドاي」(FD 関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

アクティブ・ラーニング【基礎編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景やインストラクショナル・デザインの基礎、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について学び、自身の授業での活用について考えていただくことを目的としています。
※本研修は講義をメインとしています。「アクティブ・ラーニング実践編」では、本研修を受講したうえで、参加者自身で設計したアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践について議論します。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

シラバスの書き方【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。特に、授業の目的や目標、内容設定、評価方法を作成する際のポイントについて詳しく解説します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。
※本セミナーは、「シラバスの書き方実践編」の講義部分のみを抜粋した内容です。ワークを交えながら実践的に学習したい場合は、「シラバスの書き方実践編」の受講をおすすめします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

学習評価

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)



制限なし 3時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者をご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

授業における生成 AI の活用法【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉生成 AI は、その高い自律性と汎用性から、様々な用途に活用できるツールです。しかし、生成 AI はまだ発展途上の技術なので、解決すべき課題や問題が残されています。そのため、教育において生成 AI を利用する際には、その長所と短所を理解し、慎重に運用することが重要です。そこで本 FD セミナーでは、生成 AI の教育利用を検討している教員を対象に、生成 AI の基礎知識や利用時の注意事項について解説します。
※「授業における生成 AI の活用法発展編」においては、生成 AI に関する最新情報や具体的な活用方法について紹介します。本セミナーは生成 AI 初心者向けの内容なので、より高度な活用方法について学びたい場合は、「発展編」の受講をおすすめします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～ 社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援 ～

講師：村田 淳(京都大学 学生総合支援機構 准教授)



制限なし 1時間 日本語 オンライン オンデマンド

オンライン 5月19日 10:45～11:45 オンデマンド 未定～2月末

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉障害者差別解消法（2016年4月施行）により、国立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。
〈目的〉障がいのある学生（障がい特性のある学生を含む）の就職活動の支援について基本的な知識を身につけるとともに、修学支援のプロセスも含めた総合的なキャリア支援の必要性について考える機会とします。

《問合せ先：キャリアセンター》 [✉fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：申込 URL： https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_oYm5ttp8QizwrM04LCoKA
オンデマンド配信は CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。
オンライン研修は前日までにお申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。》

障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～ 職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援 ～

講師：池田 浩之(兵庫教育大学 教授)

制限なし 1時間 日本語 オンライン オンデマンド



オンライン 5月19日 12:15～13:15 オンデマンド 未定～2月末

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障害、発達障害

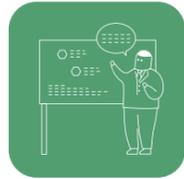
〈概要〉精神障害・発達障害のある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境（企業）への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学（認知行動療法）の専門であるため、心理的支援を中心にお伝えします。
〈目的〉障がいのある学生等、一般の就職活動とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター》 [✉fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：申込 URL： https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_KNRWqQiCRG6XZT42KSV25g
オンデマンド配信は CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。
オンライン研修は前日までにお申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハントアイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～ 精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ～

制限なし 1時間 日本語 オンライン
オンデマンド

講師：吉田 裕子(マザーシップキャリア支援研究所 所長)

オンライン 5月19日 13:45~14:45 オンデマンド 未定~2月末

〈キーワード〉インターンシップ、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神・発達障がいのある大学生のキャリア支援において、学生が自身の障がい特性や就労準備性について自己理解を深めること、支援者が修学支援とは別の視点からどのような支援が必要かを知ることが重要です。そのために非常に有効な手段となる「インターンシップ」に焦点をあて、どのような社会資源があり、どのように実施され効果が検証されているのか、事例を中心にご紹介いたします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけるとともに、学外の関係機関との有機的な連携について考える機会となることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込 URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_6fK6whl2RMa4HOPlTydfRQ
オンデマンド配信は CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。
オンライン研修は前日までにお申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。》



博士学生・ポストクのキャリア支援【知識編】

講師：松尾 誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンライン 5月27日 12:15~13:15 オンデマンド 未定~2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究、インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

〈目的〉博士学生・ポストクの現在の就職状況を各種データに基づいて正しく理解し、研究活動とキャリア教育を両立させるための研究インターンシップについて知り、学生に還元できるようになることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込 URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_O1RVcrnjRzOPe28RkGeomQ
オンデマンド配信は CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。
オンライン研修は前日までにお申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン
オンデマンド

博士学生・ポストクのキャリア支援【指導編】

講師：松尾 誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンライン 5月27日 13:45~14:45 オンデマンド 未定~2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士学生・ポストクの就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦勞する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に、民間企業就職を希望する博士学生に対してアドバイスをする方法(コーチング・スキルやコミュニケーション・スキルを含む)を学びます。

〈目的〉博士学生・ポストクの就活の実情を知り的確なサポートができるようになり、博士進学か就職かを悩んでいる修士の学生に正しい情報を伝え、キャリア選択の幅を広げる支援ができることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込 URL：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_zP-iWV0GQRK1afnWj9kgDA
オンデマンド配信は CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。
オンライン研修は前日までにお申し込みください。オンデマンド配信は申込不要です。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン
オンデマンド

限定 蛋白質研究所

FD 研修会

講師：各回によって異なる

吹田 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本局構成員宛てメールにて通知予定です。》

60名程度 各回1時間程度 日本語 対面

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FD フォーラム)

講師：未定

オンライン 9月を予定 オンデマンド 10月頃~3月を予定

〈キーワード〉教育改革、ブレンド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

1. 基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として情報提供を行います
2. グループセッション

《問合せ先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係 gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7~8月頃に各部局宛て受講者募集に係る通知を予定しています。》

オンライン：2.5時間
300名
オンデマンド：制限なし
日本語 オンライン
オンデマンド

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハント」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力

開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 産業科学研究所

総合解析センター説明会

講師：鈴木 健之(産業科学研究所 准教授)他 9 名

吹田 4月3日 13:45~17:15

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総合解析センター ☐cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：電子メールにて所内等へ通知予定です。》

50名 3.5時間 日本語 対面

人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ Seminar Series (Human Sciences) : Emerging Scholars in Behavioral Sciences

講師：萩原 広道(人間科学研究科 助教)

吹田 4月3日、6月5日、8月7日 15:30~16:40を予定

〈キーワード〉研究交流 (Research exchange)、学際教育 (Interdisciplinary education)、若手研究者 (Young researchers)、研究発表 (Research presentation)

〈概要〉若手研究者が、分野の垣根を越えて「気軽に」研究発表および議論できる場を定期的に設けることで、助教・ポスドク・大学院生などが相互に交流し、自身の研究分野・研究テーマを相対的に捉えたり、他者の研究分野・研究テーマの要点をよりの確に捉えたりできるようになることを目指します。本セミナーシリーズでは特に、隣接分野同士での学際的な議論の場を設けるために、人間科学研究科の行動学系に焦点を当てて、毎回異なる登壇者を招き、研究に関するトークと議論を実施します。

《問合せ先：人間科学研究科 比較発達心理学研究分野 ☐hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込不要です。会場未定のため、参加希望者は担当(萩原)までご連絡ください。》

各回最大 30名 各回 1.17時間 日本語 English ※実施回による 対面

限定 産業科学研究所

研究倫理教育に関する説明会

講師：大岩 顕(産業科学研究所 研究倫理委員会 委員長/教授)

吹田 7月下旬頃 14:00~15:00

〈キーワード〉研究倫理

〈概要〉研究倫理担当教授による研究活動を行う上で、遵守すべき研究倫理教育を行います。APRIN eラーニング講座(研究倫理教育)の受講が必要です。

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 総務係 ☐sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1か月前に所内周知を予定しています。受講希望者は、各研究分野・附属施設ごとに取りまとめの上、メールにて担当部署までお申し込みください。》

130名 1時間 日本語 対面

産学共創により研究成果を社会実装するには！

講師：未定

オンライン 9月頃 (2日間)

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメント、また産学共創に関わる各種契約書の基礎知識と留意点について学びます。

《問合せ先：共創推進部 共創企画課 総務係 ☐kyousou-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：【申込方法】マイハンダイよりお申し込み受付予定です。

【申込時記載事項】所属、役職、氏名(ふりがな)、連絡先(メールアドレス、電話番号)、受講を希望する講座番号 ※「新任教員研修としての受講」の場合は、受講状況の管理のため、必ず阪大「個人ID(半角英数字)」をお知らせ願います。》

100名 計4時間 日本語 オンライン

Nature Masterclasses On-demand [A] –科学プレゼンテーションの技術向上 (Advancing Your Scientific Presentations)

講師：外部講師(監修元の Springer Nature 社が選任する学術誌の編集者等)

オンデマンド 4月1日~2月9日

〈キーワード〉プレゼンテーション技術 (Presentation Skills)、ナラティブ技術 (Narrative Techniques)、研究ストーリー (Research Story)、スライドデッキ (Slide Deck)、口頭発表 (Oral Presentations)

〈概要〉科学プレゼンテーションの質を向上させるための技術を学びます。具体的には、ナラティブ技術を適用してプレゼンテーションの基礎となる研究ストーリーを構築する方法、プレゼンテーションをサポートし、強化するスライドの作成方法、および当日のプレゼンテーションの準備方法について学びます。本コースは4モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係 ☐research-support@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：マイハンダイ上(http://osku.jp/v0734)での利用登録及び Forms(https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD)での受講完了報告が必要です。》

制限なし 各モジュール: 2~3時間 (合計:10時間) ※モジュール単位で受講可能 English オンデマンド

Nature Masterclasses On-demand [B] –説得力のある助成金申請書の執筆方法 (Persuasive Grant Writing)

講師：外部講師(監修元の Springer Nature 社が選任する学術誌の編集者等)

オンデマンド 4月1日~2月9日

〈キーワード〉助成金申請書の執筆 (Grant Writing)、研究助成金 (Research Grants)、研究資金提供者 (Research Funders)、助成金申請 (Grant Applications)、ナラティブ技術 (Narrative Skills)

〈概要〉質の高い助成金申請書を執筆する方法を学びます。具体的には、資金提供者を理解することにより研究課題を資金提供者の目的と要件に合わせる方法、ナラティブ技術を適用して助成金申請書をより有益で説得力のあるものにする方法を学びます。本コースは3モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係 ☐research-support@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：マイハンダイ上(http://osku.jp/v0734)での利用登録及び Forms(https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD)での受講完了報告が必要です。》

制限なし 各モジュール: 2~3.5時間 (合計:7.5時間) ※モジュール単位で受講可能 English オンデマンド

Nature Masterclasses On-demand [C] –論文投稿から出版までの流れの理解 (Publishing a Research Paper : 2nd Edition)

講師：外部講師(監修元の Springer Nature 社が選任する学術誌の編集者等)

オンデマンド 4月1日~2月9日

〈キーワード〉論文投稿 (Manuscript Submission)、編集ポリシー (Editorial Policies)、編集プロセス (Editorial Process)、査読 (Peer Review)、原稿の改訂 (Manuscript Revisions)、カバーレター (Cover Letter)、回答レター (Rebuttal Letter)

〈概要〉論文の出版を成功させる可能性を高めるために、論文投稿から出版までの流れを理解し、各ステップで必要なスキルと知識を学びます。具体的には、論文投稿後の原稿の流れ、デスクレビュー、査読プロセス、査読後の編集判断、原稿の修正方法、回答レターの作成、リジェクト後の対応、受理後の手続き等について学びます。本コースは2モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係 ☐research-support@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：マイハンダイ上(http://osku.jp/v0734)での利用登録及び Forms(https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD)での受講完了報告が必要です。》

制限なし 各モジュール: 1.5~1.75時間 (合計:3.25時間) ※モジュール単位で受講可能 English オンデマンド

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

Nature Masterclasses On-demand [D] -効果的な論文の執筆方法 (Writing a Research Paper : 2nd Edition)

講師：外部講師(監修元の Springer Nature 社が選任する学術誌の編集者等)

オンデマンド 4月1日~2月9日

〈キーワード〉アカデミックライティング (Scientific Writing)、ナラティブ技術 (Narrative Skills)、ライティングスタイル (Writing Style)、研究論文の構造 (Research Paper Structure)、論文投稿の準備 (Submission Preparation)

〈概要〉効果的な研究論文を執筆するために役立つ技術を学びます。具体的には、ナラティブ技術を適用して説得力のある論文を執筆する方法、アカデミックライティングのスタイルの原則、研究論文を構成する各セクションの特徴と執筆方法、論文の最終仕上げと投稿準備について学びます。本コースは5モジュールで構成され、モジュール単位で受講できます。詳細はマイハンダイ新任教員研修プログラム(プログラム計画書)にてご確認ください。

《問合先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》 [✉research-support@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-support@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：マイハンダイ上(<http://osku.jp/v0734>)での利用登録及び Forms(<https://forms.office.com/r/dXWvZrbDaD>)での受講完了報告が必要です。》



オープンサイエンス時代における 研究データマネジメント基礎

講師：甲斐 尚人(D3 センター 准教授)

オンデマンド 4月1日~3月31日

〈キーワード〉研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流によって、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画(DMP)の作成や研究成果のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修では、オープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データライフサイクルの各段階の留意点や本学の研究データ基盤整備の状況等について説明します。

《問合先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》 [✉research-support@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-support@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：(事前申込不要)マイハンダイ>大学本部事務機構>研究推進関係/About Research Promotion>(CLE 研修)オープンサイエンス時代における研究データマネジメントの基礎について学ぶ。受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



人文学研究者必見！ テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)
甲斐 尚人(D3 センター 准教授)
菅原 裕輝(人文学研究科 講師)
神崎 隼人(附属図書館 特任研究員)
田畑 智司(人文学研究科 教授)

オンデマンド 4月1日~3月31日

〈キーワード〉研究データ管理、TEI、テキストデータ

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。本動画では、研究者が小説や詩など様々なスタイルのテキストデータを分析する際に役立つTEI(Text Encoding Initiative)と呼ばれるデジタルヒューマンティーズ技術の基本や研究への応用例について紹介します。さらに、初心者向けのハンズオン2種類でTEIデータの作り方や簡単なテキスト分析を行います。

《問合先：グローバル日本学教育研究拠点》 [✉gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。受講 URL： https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_208635_1/outline 受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ - OUKA で始める IIIF 画像の公開と利活用 -

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)
甲斐 尚人(D3 センター 准教授)
菅原 裕輝(人文学研究科 講師)
神崎 隼人(附属図書館 特任研究員)
田畑 智司(人文学研究科 教授)

オンデマンド 4月1日~3月31日

〈キーワード〉研究データ管理、OUKA、IIIF、画像

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。特に、デジタル・ヒューマンティーズの知見を活かし、研究での需要が高いと考えられる高精細な資料画像の閲覧と公開を IIIF (トリプルアイエフ) と呼ばれる国際的な枠組みを用いて行う手法および応用可能性について学びます。実際のケーススタディとして、OUKA に登録された懐徳堂関連文書を利用した閲覧方法および画像公開プロセスを紹介します。

《問合先：グローバル日本学教育研究拠点》 [✉gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。受講 URL： https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_207560_1/outline 受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



倫理審査はなぜ必要？ 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識

講師：鈴木 美香(研究オフィス 講師)

オンデマンド 4月1日~3月31日

〈キーワード〉人を対象とする研究、倫理指針、倫理原則、倫理審査委員会

〈概要〉昨今、研究分野を問わず、人を対象とする研究について学会発表・論文投稿時に倫理審査委員会の承認を求められるケースが増えています。そもそも倫理審査はなぜ必要なのでしょう。この研修では、人を対象とする研究をする際に知っておきたい「倫理原則」や関連指針を紹介し、理系・文系問わずよりよい研究の実施に向けたセルフチェックができることを目的とします。

《問合先：研究推進部 研究推進課 総務係》 [✉research-admin@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-admin@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：後日 CLE に掲載予定です。(事前申込は不要です。) 受講完了にはアンケートへの回答が必須です。》



オープンアクセスを巡る状況と大阪大学における オープンアクセス支援

講師：図書館職員

オンデマンド 6月2日~3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料(APC)を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌(いわゆるハゲタカジャーナル)の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学びます。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解します。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係》 [✉tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要・大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。》



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各関係部署にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

限定 生命機能研究科 (Graduate School of Frontier Biosciences)
その他(FBSの研究室(兼任教員を含む)の構成員であれば、他部局所属者も可)

生命機能研究科コロキウム (FBS Colloquium)

講師：マイハンダイ掲載の年間予定表に準ずる

吹田 **オンライン** 週1回 火曜日 12:15~13:00

〈キーワード〉生命科学 (Life science)、生命のしくみ (Mechanisms of life)、融合研究 (Interdisciplinary research)

〈概要〉週1回、各研究室が持ち回りで開催している研究セミナーです。最新の研究紹介、話題提供が行われ、お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：大阪大学大学院 生命機能研究科 企画広報室 ☐kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：☐kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp までお申し込みください。》

100名
まで
 0.75時間
 日本語
English
 対面
オンライン

機械工作ステューデントショップ利用のための安全講習会

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)

宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

豊中 週1回程度開催

〈キーワード〉安全講習会、研究・教育のためのセルフものづくり、開放工作室の利用

〈概要〉機械工作ステューデントショップ（開放工作室）では、研究者自身が様々な汎用工作機械や NC 工作機器、3Dプリンタや3D計測器を使って研究・教育を行うために必要な“ものづくり”を行うことができます。本講習は機械工作ステューデントショップを利用するために受講が必要な安全講習会です。受講後に同ステューデントショップ利用のための許可証の発行手続きを行ってください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ ☐anzen_workshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：コアファシリティ機構 工作支援部門の HP(https://www.corefc.osaka-u.ac.jp) から、開催日程を確認の上でお申し込みください。週1回程度の割合で開催しています。》

最大10名
程度
 1時間
 日本語
 対面

限定 情報科学研究科 (Graduate School of Information Science and Technology)

IST ランチセミナー (IST Lunch Seminar)

講師：大阪大学大学院情報科学研究科 教員、Boost 学生、ゲスト講師

(Faculty Members of IST、Boost Student、Guest Lecture)

吹田 週1回程度 12:00~13:00

〈キーワード〉研究力向上 (Research Enhancement)、融合研究 (Interdisciplinary research)、共同研究 (Collaborative Research)

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室 ☐ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：研究科内構成員にメール等でアナウンスします。》

各回20名
程度
 各回
1時間
 日本語
English
 対面

限定 微生物病研究所 (Research Institute for Microbial Diseases)
免疫学フロンティア研究センター (Immunology Frontier Research Center)

微研集談会 (Biken Monthly Seminar)

講師：各回により異なる

吹田 8、12、1月を除く毎月第4火曜日 (16:00~17:00)

〈キーワード〉感染症 (Infection)、免疫学 (Immunity)、がん (Cancer)、ゲノム解析学 (Genomics)

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行います。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持ちます。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーです。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☐suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び医学系研究科に開催案内を通知します。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署までお申し込みください。》

制限なし
 1時間
 日本語
English
 対面

アドバンストセミナー (Advanced Seminar Series)

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 8月と3月を除く毎月1回 (16:00~17:00)

〈キーワード〉感染症 (Infection)、免疫学 (Immunity)

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催します。基本的に月1回です。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象です。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☐suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知します。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。オンラインの場合は事前申込制です (メールで申込)。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》

制限なし
 1時間
 日本語
English
 対面
オンライン

研究・教育のための 3D-CAD 入門講習会

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

豊中 毎月1回程度開催

〈キーワード〉3D-CADによるデザイン実習、3D設計、3Dプリントデータ作成、入門編

〈概要〉実験機器や実験器具の設計、3Dプリントモデルの作成を行う際に用いる3D-CADの入門講習会です。代表的な3D-CADであるAutodesk社Fusion®を対象として、基本的な操作・デザイン方法を各自で3D-CADを操作して習得していきます。※参加者は、Fusion®をインストールしたPCとマウスを持参してください (Fusion®は教育機関ライセンスで無償利用が可能です)。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ ☐kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎月1回程度開催しております。コアファシリティの HP にて開催日程を確認し、HPを通して受講をお申し込みください。コアファシリティ機構の HP (www.corefc.osaka-u.ac.jp)》

最大10名
程度
 3時間
 日本語
 対面

研究・教育のための工作技術講習会ーガラス工作基礎

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

豊中 2日間 [年2回 (8~9月期)(2~3月期) 開催]

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、基礎編、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を自ら製作するためのガラス工作技術に関して、その基礎技術を2日間の実習を通して集中的に習得します。初めてガラス工作に携わる方も受講いただけます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ ☐glass_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：年2回(8~9月・2~3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。コアファシリティ機構の HP においても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細は HP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

最大5名
程度
 計15時間
 日本語
 対面

研究・教育のための工作技術講習会ーガラス工作アドバンス

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

豊中 2日間 [年2回 (8~9月期)(2~3月期) 開催]

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、アドバンスコース、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を自ら製作するために必要な、難度の高いガラス工作技術を特に中~上級者向けにアレンジし、2日間の実習を通して集中的に習得します。ガラス工作未経験の方、僅かの経験だけの方は、基礎編を受講の上で本アドバンスコースを受講ください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ ☐glass_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：年2回(8~9月・2~3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。コアファシリティ機構の HP においても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細は HP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》

最大5名
程度
 計15時間
 日本語
 対面

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

研究・教育のための工作技術講習会－機械工作

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)
宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)
古谷 浩志(コアファシリティ機構 准教授)

【豊中】4日間 [年2回(8～9月期)(2～3月期)開催]

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、機械加工技術、3D-CADデザイン、4日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要となる独自の実験機器や実験器具等を、自ら設計・製作するための工作・設計技術を4日間の実習を通して集中的に習得します。旋盤・フライス盤・ボール盤・レーザー加工機など一連の機械加工装置や3D-CAD 設計等の実習を行い、必要な基本工作技術のほぼ全てを学びます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 ☐ kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：年2回(8～9月・2～3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》



【限定】情報科学研究科

IST ネットワーキングイベント

講師：第一線で活躍する研究者

【吹田】又は【オンライン】隔月 年5回程度の開催を予定

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 ☐ ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎回、研究科の教職員及び学生宛てに受講に係る通知を予定しています。》



【限定】蛋白質研究所

蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

【吹田】又は【オンライン】隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質分子、生体分子、構造生物学、データ科学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質研究所をハブとした大阪大学他部局との連携研究を促進することを目的とし、蛋白質を含む生体分子に関連する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 ☐ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定です。》



【限定】微生物病研究所 (Research Institute for Microbial Diseases)

免疫学フロンティア研究センター (Immunology Frontier Research Center)

不正防止について (Prevention of research misconduct and misuse of research funds)

講師：微生物病研究所 所長

【オンデマンド】未定

〈キーワード〉研究不正 (research misconduct)、研究倫理 (research ethics)、捏造 (fabrication)、改ざん (falsification)、剽窃 (plagiarism)、不正使用 (misuse)

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReC に所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー(オンデマンド)が行われます。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付けます。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☐ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知をします。受講希望者は、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署までお申し込みください。》



定員



受講時間



使用言語



研修形式

新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：野村 玄(人文学研究科 教授)
松永 和浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

【適塾】5月20日 11:00～12:00

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、「適塾と大阪大学の繋がり」に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

・講義(野村 玄) 30分 ・適塾見学(松永 和浩) 30分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。

・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。

・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係》 ☐ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：博物館・適塾記念センター等事務室より各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》



研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用

講師：伊藤 謙(総合学術博物館 講師)

【豊中】6月20日 13:30～15:00

〈キーワード〉アウトリーチ、大学博物館、研究、教育

〈概要〉研究や教育のアウトリーチ活動の場として、大学博物館を活用するメソッドの習得を目的とします。昨今、大学教職員の社会貢献の必要性が重要視され、教育や研究のアウトリーチ活動が必須となっています。本学では研究や教育のアウトリーチの場として、大学博物館を活用しており、その方法は展覧会、シンポジウム、ミュージアムレクチャーと多岐に渡ります。さらに本学博物館のユニークな部分として博物館を活用した教育があります。本研修では、それらの実例の見学を踏まえてメソッドや考え方を習得します。具体的には2025年度春期展覧会を展示担当者の解説を交えながら見学し、実際のアプローチについて講座を実施します。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係》 ☐ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4～5月中旬ごろに受講者募集に係る通知を予定しています。》



アートを通じた社会との共創－中之島芸術センターの活用

講師：中之島芸術センター所属教員・研究員

【中之島センター】5月～7月頃

〈キーワード〉芸術、社会学共創、中之島芸術センター

〈概要〉2023年4月にリニューアルした中之島センターに拠点を置く「中之島芸術センター」は、アートを通じた教育研究と社会学共創の理念や手法を探求し、また実践しています。中之島芸術センターがどのようなアートを通じた社会との共創を推進しようとしているのか、今までの実例やこれからの展望について説明します。また、中之島センター3-4階「アートスクエア」の各施設等についても紹介します。

《問合せ先：中之島芸術センター 事務室》 ☐ secretary.art@mL.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に各部局宛に受講者募集の案内に係る案内を発出予定(ICH0 掲示板に掲載)です。希望者は、Web フォームにて申し込み形とする予定です。》



なるほど！プレスリリース

講師：秋山 皐妃(企画部広報課報道係 主任)

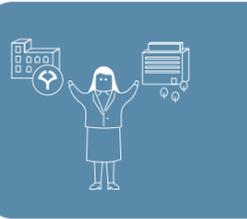
【オンデマンド】4月～3月(予定)

〈キーワード〉広報、プレスリリース、ニュース、イベント、情報公開、記者発表

〈概要〉報道機関に向けた情報発信手段の一つとして知られる「プレスリリース」。「名前は知っているけど内容はよくわからない」「プレスリリースを出すことでどのような効果が得られるのかわからない」「プレスリリースを出してみたいけれどもどのように書けばいいのかわからない」という先生方も多いのではないのでしょうか。この講座ではまず、プレスリリースの概要や効果、メリットについて一から学びます。その後、プレスリリースの具体例を参照しながら、プレスリリースを作成する際の考え方、書き方、事務手続き等について学びます。すぐに実践に活かしていただける内容です。

《問合せ先：企画部 広報課 報道係》 ☐ houdou@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：Teams 参加コードによる申込を予定しています。》



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



定員



受講時間



使用言語



研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

- ◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
- ◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

産研安全講習会

限定 産業科学研究所

産研安全講習会

講師：技術職員

オンライン 4月中旬～5月中旬

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に行う安全衛生講習会です。

〈目的〉化学実験、高圧ガス・薬品管理、工作機械取扱、電気管理、ネットワーク利用などについて知識を習得することを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 技術室 羽子岡 仁志 ☐ haneoka@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月に電子メールにて所内へ申込方法など通知します。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド

限定 蛋白質研究所

蛋白研安全講習会

講師：未定

吹田 又は オンライン 5月頃

〈キーワード〉安全管理

〈概要〉本研究所において実験に従事する学生・教職員を対象に、遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験などに関する法令を理解すること、および知識に基づく安全かつ適切な実験物管理法を習得することを目的として講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☐ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定です。》

200名程度 1時間 日本語 対面又はオンライン

ハラスメント防止等に関する研修会

講師：未定

オンライン 7月上旬（日時は未定）

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉ハラスメント問題に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、ハラスメント問題（テーマは未定）について講師よりお話をさせていただきます。

《問合せ先：総務部 総務課 文書法規係 ☐ soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1ヶ月前程前に受講者募集に係る通知を大学ホームページ及びICHO／KOANに掲載予定です。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

働き方改革推進研修

講師：川島 高之(NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事)

吹田 7月頃

〈キーワード〉DE&I、多様性、アンコンシャス・バイアス、ウェルビーイング、働き方改革、ワークライフバランス

〈概要〉大阪大学では、働きやすく働きがいのある大学を実現するため、InclusiveでWell-beingなキャンパス環境創出に取り組んでいます。このためには、子どもの有無や育休の有無に関わらず、構成員1人ひとりが大切にする私生活を守ること、またそれを尊重する土壌づくりが重要です。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、今年度もNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏を講師としてお招きし、働き方改革推進研修を開催する予定です。今回は対面でのワークショップを想定しています。管理職や経営者として男性育休の促進や働き方改革を実行してこられた講師のご経験や具体的な実践法をお話いただくことで、構成員一人ひとりが大切にする私生活を守り、それを尊重する土壌づくりの重要性を学びます。新任教員の皆さまにもご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合せ先：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター ☐ di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。》

制限なし 1時間 日本語 対面

より良い人間関係の育み方

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 7月予定

〈キーワード〉コミュニケーション、感情のコントロール、他者視点、レジリエンス、ハラスメント

〈概要〉私たちは、性別・国籍・能力・思想・思考・成育歴・性格・ストレスの脆弱性など個々それぞれで、好き嫌い、馬が合う合わないがあるのは当然です。唯一共通していることは「人間であること」です。同じ人間として、互いに敬意を込めて関わることで、より良い人間関係を育む第一歩です。より良い人間関係は、円滑な業務・研究/教育活動の土台となり、ひいてはハラスメント防止、メンタルヘルス対策にもなります。この研修では、良い人間関係を育む心構えとコミュニケーションスキルを紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート&トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談 ☐ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。

☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp

お申し込み時に、新任教員研修対象の受講希望者におかれましては、所属、お名前、大阪大学個人ID(「u」で始まる英数字8文字)をご明記ください。》

30名 1.5時間 日本語 対面

限定 大学院工学研究科

工学研究科新任者研修

講師：大学院工学研究科長・教授

大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員、その他講師は調整中

吹田 未定

〈キーワード〉工学研究科、研究倫理、研究不正防止、財務基本知識、ハラスメント防止、教員 事務系職員のチームビルディング

〈概要〉工学研究科を取り巻く状況、工学研究科におけるコンプライアンスの取り組み、工学研究科の財務基本知識、工学研究科の研究力強化、フューチャー・デザイン、ハラスメントを回避する方法、交流研修等により構成され、全体で約6時間を予定し、工学研究科の新任教職員を対象とします。新たに工学研究科に赴任され、教育・研究又は事務を担当する教職員を対象に、本研究科の現状を認識し、大学における教育・研究およびその支援を担当する教職員としての使命、役割、心構えを持つことを目的とします。円滑に業務を遂行するために、教員・事務系職員との交流を促進します。

《問合せ先：工学研究科 総務課 人事係 ☐ kou-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催1カ月前頃、研究科内対象者宛に通知を予定しています(メール配信)。

出欠の可否について、直接担当部署宛に連絡していただく予定です。》

約30名 6時間(予定) 日本語 対面

事例検討 ハラスメント防止のために

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 7月予定

〈キーワード〉ハラスメント、加害者心理、被害を未然に防ぐスキル(断る・逃げる・止める)、レジリエンス

〈概要〉ハラスメント事例について、加害者・被害者・傍観者の視点から、どこが問題であったのか、未然に防ぐためには何をするべきであったのかについて、参加者の皆様にグループディスカッションをしていただきます。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート&トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談 ☐ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。

☐ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp

お申し込み時に、新任教員研修対象の受講希望者におかれましては、所属、お名前、大阪大学個人ID(「u」で始まる英数字8文字)をご明記ください。》

30名 1.5時間 日本語 対面

限定 基礎工学研究科

基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会

講師：基礎工学部長・基礎工学研究科長、事務部等

オンライン 未定

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、ハラスメント防止、事務手続き

〈概要〉「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「研究企画推進について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「ハラスメント防止の重要性」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という6つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。基礎工学部・基礎工学研究科の教育を担当することになった教員等を対象に、大阪大学、基礎工学部、基礎工学研究科の現状についての認識を深めるとともに、大学教育を担当する教員として、教育に関する力を高めることを目的とします。

《問合せ先：基礎工学研究科 人事係 ☐ ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月以降に対象者向け通知を发出予定です。対象者は参加の可否をメールで回答してください。》

制限なし 3時間 日本語 オンライン

	定員
	受講時間
	使用言語
	研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

限定 産業科学研究所

産研メンター制度実施利用者に向けての講演会

講師：未定

オンデマンド 4月1日（予定）～3月31日

〈キーワード〉メンタリング、ロールモデル、人材育成、支援、助言、メンティ、メンター

〈概要〉令和5年10月から産研メンター制度を試行的に実施しており、メンター制度の概要、制度先行大学における効果等について説明し、産研所属教職員が制度への理解を深めるとともに、制度適用有資格者のメンティ又はメンター候補者への応募を促進させることを目的とします。また、産研メンター制度を利用しない教職員についても、メンタリング等について知識を得ることにより、部下や学生等への適切な指導に役立てることを目的とします。
※産研メンター制度利用が決定した教員（メンティ、メンター）については受講必須です。

《問合せ先：産業科学研究所 戦略室》
✉ sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：産業科学研究所内に受講者募集に係る通知を予定しています。》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド

限定 令和7年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び事務職員

大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：総長、理事

オンデマンド 4月1日～3月31日（予定）

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社学共創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係》
✉ soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：CLEより各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります。
受講 URL (https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/organizations/_207899_1/cl/outline)》

制限なし 2時間 日本語 オンデマンド

限定 産業科学研究所

バイオセーフティー講習会

講師：バイオセーフティー担当教員

吹田 オンライン 4月下旬～5月下旬 オンデマンド 4月下旬～5月下旬にアップロード予定

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。
〈目的〉遺伝子組み換え実験、動物実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、周知徹底を図ることを目的としています。

《問合せ先：産業科学研究所 西野 邦彦》
✉ nishino@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月～5月に電子メールにて所内等へ通知します。》

50名 2時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬～下旬 オンデマンド 6月頃～3月末

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としています。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》
✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

未定 1時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬～下旬 オンデマンド 6月頃～3月末

〈キーワード〉廃液・排水

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》
✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

未定 1時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本 仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬～下旬 オンデマンド 6月頃～3月末

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》
✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本 仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5月中旬～下旬 オンデマンド 6月頃～3月末

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》
✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 豊中分室編)

講師：竹内 徹也(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 教授)

豊中 オンライン 5月中旬～下旬 オンデマンド 6月頃～3月末

〈キーワード〉高圧ガス、液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》
✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門 吹田分室編)

講師：中本 将嗣(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 兼任准教授)

吹田 オンライン 5月中旬～下旬 オンデマンド 6月頃～3月末

〈キーワード〉高圧ガス、液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係》
✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面 オンライン オンデマンド

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：中本 将嗣(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 兼任准教授)

【豊中】吹田 オンライン 5月中旬~下旬 【オデマド】 6月頃~3月末

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得します。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 [✉anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬 英毅(安全衛生管理部 教授)

【豊中】吹田 オンライン 5月中旬~下旬 【オデマド】 6月頃~3月末

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 [✉anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

新入教職員安全衛生講習会

講師：未定

【対面】オンライン 未定(5月頃) 【オデマド】 6月頃~3月末

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 [✉anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月上旬に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定しています。受講希望者は、各自お申し込みください。》

【限定】理学研究科

理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

【豊中】オンライン 6月下旬~7月上旬頃 【オデマド】 10月~11月頃 ※開催形式について変更の可能性あり

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行います。ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的としています。

《問合せ先：理学研究科 人事係 [✉ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定しています。申込不要です。》

ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム

講師：たかはし みほ(ヨガインストラクター)

齊藤 弥生(ヨガインストラクター)

【吹田】 4~7月、10~1月 (各月1回、12:20~13:20に開催)

〈キーワード〉ヨガ、ストレス解消、健康づくり、研究力向上

〈概要〉海外の大学では、ストレスを軽減し、研究力や仕事力のアップをはかるため、キャンパスライフに体を動かす取り組みを積極的に取り入れています。2025年度はOUマスタープラン実現加速化事業（活性化A）「社会学共創によるWellbeingでInclusiveなキャンパスづくりの全学展開に向けた試行」の一環として、毎月1回、外部から講師を招き、ヨガプログラムを実施し、大阪大学の教職員のパワーアップに貢献します。

《問合せ先：人間科学研究科・人科 DE&I プロジェクト(OU マスタープラン実現加速事業)事務局 [✉hus-dei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hus-dei@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：プロジェクトHP (<http://ouhusdei.hus.osaka.ac.jp/>) 内のヨガプログラムのページよりお申込み下さい。》



未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド



未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド



未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド



種別:未定
オンライン:
制限なし 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド



15名
程度 各回
1時間 日本語 対面

SOGI 研修

講師：未定

【オンライン】 未定 【オデマド】 研修終了後~3月31日

〈キーワード〉DE&I、多様性、SOGI、LGBTQ+

〈概要〉大阪大学は、DE&I実装キャンパスの実現に向けて、誰もがいきいきと学び、働くことができるキャンパスの実現を目指して、講演会や研修を通じた大学構成員への啓発活動、制度の見直し等を積極的に進めています。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、2025年度も全教職員・学生を対象にSOGI研修の開催を予定しております。学外有識者による講演及び本学のガイドライン紹介等を通じて、「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の多様性と権利を認識し、偏見と差別をなくし、業務遂行にあたり適切な対応ができるよう理解を深めます。新任教員の皆さまにご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合せ先：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター [✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。当日は ZOOM ウェビナーで開催し、終了後はアーカイブ配信を行う予定です。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン
オンデマンド

Well-being 研修

講師：未定

【オンライン】 未定 【オデマド】 研修終了後~3月31日

〈キーワード〉DE&I、多様性、ウェルビーイング、ワークライフバランス

〈概要〉大阪大学では、働きやすく働きがいのある大学を実現するため、Inclusive で Well-being なキャンパス環境創出に取り組んでいます。このためには、子どもの有無や育休の有無に関わらず、構成員1人ひとりが大切に私生活を守ること、またそれを尊重する土壌づくりが重要です。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、2025年度も全教職員・学生を対象に、Well-being研修の開催を予定しております。これまで把握しづらかった更年期障害、PMSなどの女性の健康課題を理解することで、組織の生産性向上や誰もがその能力を存分に発揮できる学修・研究・就業環境の整備につなげます。新任教員の皆さまにも、男女問わず、ご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合せ先：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター [✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。当日は ZOOM ウェビナーで開催し、終了後はアーカイブ配信を行う予定です。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン
オンデマンド

アンコンシャス・バイアス研修

講師：未定

【オンライン】 未定 【オデマド】 研修終了後~3月31日

〈キーワード〉DE&I、多様性、アンコンシャス・バイアス、特権

〈概要〉大阪大学は、DE&I実装キャンパスの実現に向けて、誰もがいきいきと学び、働くことができるキャンパスの実現を目指して、講演会や研修を通じた大学構成員への啓発活動、制度の見直し等を積極的に進めています。ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、2025年度も全教職員・学生を対象に、アンコンシャス・バイアス研修を開催する予定です。ダイバーシティ阻害要因の一つとされるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に着目し、2022年度から学内全構成員(学生及び教職員)を対象としたe-learning研修(オンデマンド型)を実施していますが、更なるアンコンシャス・バイアスの払しょくのために、マジョリティーの無自覚な「特権」についての認識を深めます。新任教員の皆さまにもご認識いただきたい内容となっておりますので、是非ご受講ください。

《問合せ先：ダイバーシティ推進課、ダイバーシティ&インクルージョンセンター [✉di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。当日は ZOOM ウェビナーで開催し、終了後はアーカイブ配信を行う予定です。》



制限なし 1時間 日本語 オンライン
オンデマンド



定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は2月未時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD 関係)にてご確認ください。

お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係
大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教学支援部
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部